

平成 22 年 5 月 14 日

各 位

投資法人名	ベンチャー・リヴァイタライズ証券投資法人
代 表 者	執行役員 木暮 康明
コード番号	8721 (大証ベンチャーファンド市場)
問 合 せ 先	執行役員 木暮 康明
電話番号	03-6229-0180

投資先企業の証券取引等監視委員会による強制捜査に関するお知らせ

本証券投資法人が投資を行っている株式会社エフオーアイ（証券コード 6253）は平成 22 年 5 月 12 日に金融商品取引法違反（虚偽有価証券届出書）の容疑により、証券取引等監視委員会による強制捜査（捜索・差押）を受けました。

なお、同社が実施した 5 月 12 日付プレスリリースにより「現在、詳細な状況が不明なため捜査の推移を見守りたいと存じます。当社といたしましては、証券取引等監視委員会による強制捜査が実施されたという事実を厳粛に受け止め、事実の解明のため捜査当局に全面的な協力をしていく所存であります。」と発表されております。

本件に関し、同銘柄の購入経緯、フォロー状況及び今後の運用方針につきまして、以下の通りご報告させていただきます。

記

1. 会社名

株式会社エフオーアイ

2. 投資総額

普通株式数 61,600 株 帳簿価格 50,080,800 円

時価評価額 32,340,000 円（5 月 13 日現在）

3. 純資産額等に与える影響

最大で 32,340,000 円の損失（5 月 13 日現在）

同日純資産総額比 2.05%

4. 購入経緯、売買状況

本投資法人の資産運用会社である S B I アセットマネジメント株式会社（以下、「資産運用会社」といいます。）は、株式会社エフオーアイ（以下、「FOI 社」といいます。）が平成 21 年 11 月 20 日に新規公開する時に、新規公開前の個別訪問説明において FOI 社と面談を行いました。本面談においては、目論見書の内容に沿った説明がなされ、当社からは今回も問題になっている売掛金

に関する質問を含め多面的な質問を行い、FOI 社より売掛金については回収期間が長くなっているが回収可能性が高い債権であるとの発言を得ております。

資産運用会社は、面談および目論見書の分析等により FOI 社を割安であると判断し、ブックビルディングの申込みを行い 1 株 850 円で 133,400 株の割当を受けました。しかし、その後 FOI 社上場までに中小型株の相場全体が大きく低迷したこと等から、保有リスクを勘案し上場時に保有株式の 50% を売却することを決定し、上場時の 11 月 20 日寄り付きに 770 円で 66,700 株を売却しました。その後、株価の上昇時に 850 円以上の価格で 5,000 株を売却しました。平成 22 年 5 月 12 日に本件ニュースを確認後は、5 月 14 日までで 100 株売却しております。

5. 同銘柄に対するフォロー状況

FOI 社は、半導体製造装置の製品開発、製造、販売を行っている会社で、後発ながら独自の技術を基に、主に台湾の大手半導体製造メーカー数社に製品を販売しております。後発で初号機が多いことから業界の慣習により資金回収までの期間が数年かかり売掛金が多くなりがちのため、資産運用会社は受注状況、売掛金回収動向には特に注意を払い、四半期決算時でのチェックのほか随時ヒアリングを行っていました。具体的には、売上高についてすべて正規の契約に基づく売買取引によるものだけを計上しているかどうかを、面談の都度確認しておりました。また、証券会社のアナリストへのヒアリングを通じて周辺情報の収集にも努め、業績動向を継続的にフォローしてまいりました。

平成 22 年 5 月 12 日の日本経済朝刊において FOI 社の架空売上に関する記事が掲載されたことから、資産運用会社では FOI 社および主幹事証券に対してヒアリングを行いました。しかし、本件に関する確実な情報を得ることが出来ずに現在に至っています。

6. 今後の運用方針

FOI 社の今回の強制捜査に関する業績への影響等は不明であります。証券取引等監視委員会による強制捜査が実施されたという事実をもって、今後、架空売上等の不正が明らかになる可能性は高いと予想されます。また、5 月 13 日、東京証券取引所より FOI 社は開示注意銘柄の指定を受けたことから、上場廃止の恐れも考えられます。

以上より、資産運用会社はリスクを回避すべく全株売却することを決定し、売却手続きを行っております。しかし、5 月 12 日以降の売買状況は売却希望者が購入希望者を大きく上回る状況が続いていることから、売却が完了する時期、売却予定価格については現在のところ確定できない状況にあります。

本投資法人および資産運用会社は引き続き FOI 社に関する情報収集に努め、適時適切に運用を行ってまいります。

以 上